

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 27日

事業所名 CoCo

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	2部屋の訓練室と 室外(敷地内)を利用し、1人ひとりが広くスペースを使えるように工夫している。	運営規定を満たしており、パーテーションを使用し環境を分け、安心・集中して取り組めるようにしています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	必要な配置数以上の職員を配置しています。	1人ひとりの職員のスキルアップが出来るよう、研修も引き続き取り組んでまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	その日使用する教材・課題のみ用意し、集中できる環境作りを行っています。入口はバリアフリーになっており、トイレ・階段には手すりを付けています。	過ごしやすい環境整備を心がけてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	清掃と全ての教材・玩具・机・椅子など触れるものの消毒を毎日行っています。使用するものは、児童が自分で取れる高さに設定しています。	活動に合わせた空間作りを行ってまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	会議や朝礼、支援終了後の振り返りを行い、職員間で共通の認識を持って支援出来るようにしています。	支援の質の向上に向けて、研修を参考に進めて行きます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	業務改善に繋げていきます。	改善が必要な問題について、より良い環境作りが出来るように取り組んでまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開しています。	引き続きホームページにてお知らせさせていただきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	92%	8%	現時点では、外部評価は行っていません。	必要に応じて実施を検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	研修の情報を常に収集し、積極的に参加しています。	常に新しい情報に目を向け、職員のスキルアップを目指してまいります。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	現状を把握したうえで、アセスメントを行い、計画を作成しています。	ご本人・ご家族様の目標に向け、また楽しかったと言われるような計画書の作成が出来るよう努めてまいります。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	使用しています。	定期的に見直しを行なってまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインに則った「発達支援」「家族支援」「地域支援」の内容より、必要な支援を選択し設定を行っています。	1人ひとりの成長に合った項目を選択し、支援内容を設定できるよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	目標達成に向けて、支援を行っています。	日々、支援員の共通認識の中支援を行なえるよう、引き続き報告を行います。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	会議や日々の支援の中で話し合っています。	情報収集を行い、さらに充実したプログラムが出来るよう、話し合いを進めていきたいと思っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	理解度や行動に合わせ変化し、また楽しめるよう工夫しています。	成長に合わせながら、楽しみ取り組めるようプログラムの設定を行ってまいります。しかし、状況に合わせ、気持ちの安定のために必要な際は固定化も行います。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%	0%	相談支援員と共有し、保護者様と話し合うと共に、本人の様子も考え作成しています。	こども園・幼稚園等の状況の把握を行い、本人の様子も合わせ、個別と集団の活動の割合を考えていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	活動の目的・個人への配慮点・対応方法・環境設定・配置などは文字や図にしており、口頭と資格での確認を行っています。	職員間での打ち合わせ、意見交換を引き続き行っていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終了後には必ず振り返りを行っています。送迎等で不在の職員は管理者や児発管に伝え、振り返りの報告も伝え、個人の記録表に記載し、全員が把握出来るようにしています。	引き続き、強みを伸ばしていけるよう支援に繋げていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	支援終了後に記録を行い、支援に対しての反応などから改善点を見出せるようにしています。その後職員間での話し合い、共有しています。	記録を取る際に意見交換を取り入れ、内容の正確さを図っていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に行なっています。変化が見られた場合や必要に応じて見直しを行っています。	成長や現状に目を向け、個々に寄り添った計画書の作成を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者または児童発達支援管理責任者、児童指導員が参加しています。	担当者会議だけでなく、相談支援員への連絡・報告を行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	92%	8%	必要に応じて情報交換を行っています。	関係機関との関係を深めて行けるよう引き続き努めてまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	83%	17%	現時点で医療的ケアが必要な児童の利用はない為行っていません。利用される際には体制を整えていきたいと思っています。	利用があった際には体制を整え、関係機関と連携を行い、安心して利用できるよう努めさせていただきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	92%	8%	現時点で医療的ケアが必要な児童の利用はない為行っていません。利用される際には体制を整えていきたいと思っています。	利用があった際には体制を整え、関係機関と連携を行い、安心して利用できるよう努めさせていただきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	送迎の際に情報交換を行っています。	関係機関での情報共有に努めていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	入学の際など訪問を行い情報共有や相談支援員を通して情報提供を行っています。	関係機関での情報共有に努めていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	92%	8%	研修は出来る限り参加しています。	引き続き研修への参加を行い、アドバイスを頂き、支援の構築を行っていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	92%	8%	事業所のみ児童に対しては、こども園や幼稚園への移行を行っている。	地域でのイベントにも積極的に参加し、同じ空間で楽しめる機会を増やしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	92%	8%	出来る限り参加しています。	引き続き、可能な限り参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時に伝えさせて頂き、気になる子とは電話等でお話しをさせて頂いています。	引き続き、情報交換を行ってまいります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	92%	8%	支援のフィードバック時に、ご家庭での対応方法を伝えさせて頂いています。	職員の専門性を高め、保護者様への情報提供が出来るよう、研修への参加を引き続き行っていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	利用契約時に説明させて頂いています。	ご不明な点がある時にはその都度説明させていただきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	作成した計画書の内容の説明を行い、同意を得ています。	引き続きよりわかりやすい計画書を作成できるよう努めてまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	一緒に考え、対応の提案をさせて頂いています。	適切な支援方法を伝える事が出来るよう、情報収集や研修への参加を積極的に行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	感染防止の概念から中止している。	イベントや研修の企画を行い、保護者様に参加して頂けたらと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	職員への聞き取りを行い、状況・対応方法をすぐに説明させて頂いています。職員間で共有し改善に繋がっています。	日頃から信頼関係にも力を入れ、すぐに話して頂けるよう努めさせて頂きます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページを使用しています。	引き続きホームページでの日頃の活動の様子や緊急時対応のマニュアル等の情報を発信させて頂きます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	必ず鍵付きの所へ保管し、鍵の管理も十分に注意している。	第三者への情報提供が必要な際には、ご本人・ご家族の了解を得た上で行います。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳や送迎時、訪問や来所時、電話等で状況や課題を共有しています。児童に合った伝達方法を行っています。	引き続き、一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	83%	17%	感染防止の概念から行っていません。	今後、事業所を知ってもらえるよう努めてまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	全てのマニュアルはホームページに掲載し、いつでも確認して頂けます。	引き続きホームページに掲載させて頂きます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年間計画のもと避難訓練を行うと共に、備蓄の確認を行っています。	今後も災害に備え、訓練を続けていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	保護者様に確認を行っております。	引き続き、体調確認も含め確認を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギー除去を行っている。	引き続き、医師の指示書に基づき、調理方法など細かく確認し、安心して食べて頂けるようにしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	いつでも見れるように保管しており、会議でもヒヤリハットを使用し、情報共有・対策を話し合っている。	引き続き、ヒヤリハットを活用し、職員間で周知していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修が開催されるたびに参加し、報告を行っている。また、所内研修も取り組んでいます。	虐待防止への意識が高まるよう、虐待に綱華恐れのある事案など、常に話し合い、慎重に進めさせて頂きます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	92%	8%	身体拘束が必要な児童がいない為、計画書への記載はない。	今後必要な場合には、状況やタイミング、方法や時間など何度も話し合いを重ね、計画書への記載も含め、慎重に進めさせていただきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。